

会 議 録

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 名 | 令和7年度第5回山形市社会福祉審議会地域福祉専門分科会 |
| 開催日時 | 令和8年1月23日（金） 午後2時30時から午後3時15分まで |
| 開催場所 | 山形市役所 10階 委員会開催室 |
| 主 催 | 福祉推進部地域共生社会課 |
| 出席者 | 委員：7名 門脇委員、今野委員、下村委員、高野委員、長岡委員、増川委員、渡邊委員 事務局：6名 福祉推進部 平吹福祉推進部長 地域共生社会課 鈴木次長(兼)課長、菊地総括主幹(兼)課長補佐、市川課長補佐(兼)福祉政策係長、三井主幹、福島主事 |
| 議 題 | 別紙次第のとおり |
| 資 料 | 当日資料参照 |
| 傍 聴 者 | なし |
| 作 成 者 | 福祉推進部地域共生社会課 主事 福島 七海 |

会議経過

1 開会 午後2時30分

<以下、今野分科会長が議長となり議事進行>

2 議事 議長：今野分科会長

第4次山形市地域福祉計画（案）について

事務局より説明。

渡邊委員：成果指標について、発展計画との整合を図ると案に記載のとおりになるのだと思うが、基本理念と照らし合わせるとより適切な指標があるのではないか。

鈴木次長：これまでの分科会でもご説明したように、福祉分野の成果は数字で表せるものではないという意見があり、現行の第3次計画までは成果指標を設けていなかった。

第4次計画策定の過程で庁内会議を行ったところ、行政計画であれば成果指標が必要という意見があり、指標を設けることとした。

第4次計画の成果指標は、基本目標にかかる記載の3項目としているが、次期計画に向けて評価の際に委員の皆様よりご意見をいただき、変更の必要性について検討したいと思う。

議 長：次期というと、5年後の評価の時か。

鈴木次長：3年後の中間評価でもご意見を伺いたいと思う。

門脇委員：自治推進員の立場からすると、前回は発言したとおり、PTA役員経験者が地域の役割を担う流れがあったが、全国的にはPTAが解散する流れになっている。山形でも、地域に根差したPTAの研修が行われていたが、全市一斉の集合研修となっている。

教育は、こども、保護者、学校の3つがあって成り立つ。これまでを振り返り、全国

的な流れに乗らずに山形らしい地域づくりが必要だと思い、PTAの関わりについて盛り込むよう意見を提出した。

今回提示された案にはそれが反映されたため、今後の動きを見守っていきたい。

鈴木次長：PTA活動の変容も踏まえ、第4次計画のキーワードを「つながりの再生・再構築」としている。コロナ禍を経て希薄化したつながりを再生し、社会構造の変化などにより再生できないものは、つながりを再構築していくというもの。計画策定により「つながりの再生・再構築」を念頭に置き施策を進めることになる。

事務局：その他ご意見があれば、2月2日まで意見票を提出いただきたい。

<議長解任>

3 その他

今後の分科会開催スケジュールについて事務局より説明。

4 閉会 午後3時15分